

医学教育学講座／総合医学教育センター

【教育】	
1. 到達目標	医療者には、1. プロフェッショナルリズム、2. 医学知識と問題対応能力、3. 診療技能と患者ケア、4. コミュニケーション能力、5. チーム医療の実践、6. 医療の質と安全の管理、7. 社会における医療の実践、8. 科学的探究、9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢などの資質・能力が要求されるが、現在の医学教育においてそれらを学修するための理論・方略を獲得する機会は必ずしも十分ではない。本講座では、医学教育学、行動科学、社会科学的な見地からこれらの資質・能力を獲得するための方略を実習等を通じて体験し、その背景を理解するとともに、自己学修のみならず、学部教育・卒業教育に応用できるレベルに到達することが目標である。
2. 現状説明	現在は、1) 試験問題作成などの学修評価方法、2) 医療シミュレーター等を用いた診療技能獲得のための実習、3) 実際の医療倫理や医療安全上の問題をテーマにした演習、4) 新たな診療科を目指す医師や潜在看護師を対象としたリフレッシュ医学教育（リカレント教育）を基本に教育研修を行なっている。リフレッシュ医学教育（リカレント教育）については、山形大学医学部総合医学教育センターホームページ参照（URL：https://www.id.yamagata-u.ac.jp/yufm_gmec/）。5) 高度人材育成の一つとして、対話能力の向上のため、医療メディエーション教育を院内ならびに山形大学関連病院の院外で、オンラインで毎月1回開催し、毎月約100名の参加がある。臨床倫理アドバイザーとして病院内の指導にも携わっている。
3. 点検・評価	1) 及び2) は大学院教育に於いて、3) は3年生対象の研究室研修及び毎月開催している医療従事者対象の症例検討会に於いて教育を実践しているが、2名の教員で対応できる人数に制限があり、個々の学修者に対応するためには教育方法の工夫が必要と思われた。4) に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で過去2年間は募集を中止していたが、今年度は研修を再開した。コロナ禍で講座研究に登録していた医学部生のデータ入力協力の下に英語論文（査読付き）を公開できた。高度人材育成の一つとしての医療対話推進教育は、毎回事例発表ができるようになってきており、チーム医療や医療苦情・相談・医療安全管理に貢献できている。また、日本臨床倫理学会で上級倫理認定士として、臨床倫理委員会にも積極的に取り組むことができた。
4. 目標・改善方策の達成度	少人数で、最大限、学生の個別な質問や対応を丁寧に行なうように努める。学修者の過密なカリキュラムと学生自身の多様な価値観、また今年度はオンライン講義の制約があり、短時間では問題点を考えさせるだけに終わっており、今後はさらに発展的な考察ができるように改善していく予定である。新型コロナウイルス感染症の影響は緩和されつつあり、医師を対象としたリフレッシュ医学教育受講者のリクルートをすすめる。
【研究】	
1. 到達目標	当講座では、医療コンフリクトマネジメント、医療対人関係論としての医療メディエーション研究により、インフォームド・コンセントの充実、協働意思決定支援、紛争管理などにおける患者と医療者の良好な関係構築を目指している。また、事案の実践研究により、医療事故対応や医療安全管理に関する地域の関連病院との連携体制の構築を目標としている。
2. 現状説明	「修復的正義からみたインフォームド・コンセントの対話過程の検証」基盤研究（c）一般の研究に取り組んでおり、1. 当事者支援のインフォームド・コンセント（IC）については、実際の通常のICのナラティブ展開と医療メディエーションの検討として、逐語録や質問紙票等の研究調査を実施し、テキストマイニングとナラティブ分析で、査読のある英語論文（「BENEFITS OF MEDICAL-MEDIATION IN INFORMED CONSENT: EVALUATING CLINICIANS' PERSPECTIVES」）を公開できた。 2. AD（事前指示）、ACP（事前ケア計画）の臨床倫理面での検討として、膵尾部癌Stage4の症例の身寄りのない人についての倫理指針について、Jonsenの4つの分析手法【医学的適応（善行と無危害の原則）、患者の意向（自立性尊重の原則）、周囲の状況（忠実義務と公正の原則）、QOL（善行と無危害と自律性尊重の原理）】で検討することができた。今後、論文にまとめる予定である。 3. 刑事司法では、Social inclusion（社会包摂）に関する各国の取り組みを知ることができた。民事では、本研究もその一つである国際調停が、もっと社会福祉との協働を考えるべきであると学び、加害者と被害者の共感認識、医師の説明における共感について検討した。 4. 修復的司法（RJ）である具体的対話方法論である医療メディエーションの有用性について、いじめやハラスメントの修復的司法に基づく医療メディエーションの実践や予期せぬ有害事象の患者への対応について医学的無益性の事例として研究した。この研究調査については、2022年度に開催される国内外の学会で発表した。
3. 点検・評価	今年度は、論文発表及び研究費獲得に関しては実績を上げることができた。新型コロナウイルス感染症の影響下ではあったが、国際学会と国内の学会で発表できた。また、英語論文（「Higher Awareness of the Need for the Education in Medical Mediation Practitioners in Hospitals in Japan」）も公開できた。
4. 目標・改善方策の達成度	次年度は、研究データを分析し、まとめ、執筆中の論文の完成と、倫理メディエーションについての著作書籍を公開することが目標である。

【診療】	
1. 到達目標	1. 患者・家族のみならず、医療従事者のさまざまな視点を受容でき、患者中心の医療が提供できるように、管理部門・診療・看護・事務等のセクションで指導相談業務を担当する。2. 患者サポート充実体制支援の指導・助言を行う。3. 臨床倫理委員会の委員、医療事故防止対策委員会委員として医療安全管理に参画する。以上を到達目標として活動する。
2. 現状説明	院内で看護部の学習会を、毎月1回～2回開催した。参加者の中に、裁判所での執務の兼業が認められた者がおり、医療法学的なアプローチの演習も加えた。医療機関内外の医療安全管理者と連携、全国の医療対話推進者（医療メディエーター）とも協力し、患者サポート体制の充実に寄与している。また今年度は、依頼のあった講座の主任教授や関係する他病院の医師を交えての医療事故対応の検討会を患者・家族と関係者と共に開催した。
3. 点検・評価	上述のごとく今年度の到達目標は、ほぼ達成できた。
4. 目標・改善方策の達成度	今年度の到達目標は達成されたが、臨床現場で生じる問題は事例毎に異なるため、次年度も同じ到達目標とし、目標の達成に向けた努力を引き続き行う。
【社会貢献】	
1. 到達目標	前述の通り当講座は、良好な医療従事者・患者関係構築のためのサポートや地域の医療従事者に対するリカレント教育及び医療対話推進教育を通じて社会に貢献することを目指している。また、山形大学が推進する地域のSDGsへの取組を積極的に支援するために、SDGsの3, 4, 10, 16, 17に貢献できるように、取り組んでいくことが目標である。（参考URL ① https://www.id.yamagata-u.ac.jp/sdgs.html , ② https://sdgs.yamagata-u.ac.jp/ ）
2. 現状説明	前者としては、ADR（Alternative Dispute Resolution）学術研究会（地域の関連病院55施設と連携）を年1回の合同開催ならびに、毎月1回の事例検討会や学習会をWeb開催した。また、医療機関内外の医療安全管理者と連携、全国の医療対話推進者（医療メディエーター）とも協力し、患者サポート体制の充実に寄与した。後者としては、医師及び看護師のリフレッシュ医学教育を行なっている。
3. 点検・評価	山形大学関連病院による地域連携の山形県医療ADR学術研究会は毎月1～2回WEB開催し、HP（ https://www.adr-yamagata.com/ ）も作成した。また、リフレッシュ医学教育に関しては新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されつつあり、今年度は医師の研修を再開したのは前述の通り。
4. 目標・改善方策の達成度	今後も山形県医療ADR学術研究会の活動を継続するとともに、裁判所や医師会との連携を図り、医療事故や患者安全の対応における、労働衛生についても検討する。また新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されつつあり、潜在看護師の研修及び医師対象の研修共にコロナ禍以前の状況まで実績を回復させたい。目標関連のHP等を立ち上げたので、県内のみならず、県外での社会貢献に努める予定である。

医学教育学講座／総合医学教育センター

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
1. 論文	(1)原著	査読有 Toshimi Nakanishi1, Hiroataka Ito	* Collaborative Response of Nurses in interpersonal Conflict Situations Who Believe are Justified: Focusing on Sociodemographic and Medical-Mediation Education	医療コンフリクト・マネジメント, 2022年4月:8(4):44		E Only	A
1. 論文	(1)原著	査読有 Toshimi Nakanishi1, Yoshihiro Sugiura, Masaharu Nohgawa, Kenshin Sasaki, Misa Sekikawa	* Higher Awareness of the Need for the Education in Medical Mediation Practitioners in Hospitals in Japan	Journal of Clinical Research and Medicine. 2022 December 27, Volume 5 Issue 6		E Only	B
1. 論文	(1)原著	査読有 中西淑美, 伊藤嘉高	* 自己に正当性がある対人コンフリクト状況下における看護師の協働的対応-社会的属性と医療メ ディエーション教育に着目して	医療コンフリクト・マネジメント, 2022年4月:8(4):33-43		E Only	B
1. 論文	(1)原著	査読有 中西淑美	インフォームド・コンセントにおける医療メ ディエーションの利点 臨床家の評価視点から	医学教育, 2022年7月:53(7):232			B
1. 論文	(1)原著	査読有 中西淑美	医療メディエーション教育の必要性における実 践者と非実践者による認識の差	日本医療マネジメント学会雑誌, 2022年7月:23(7):163			B
1. 論文	(1)原著	査読有 中西淑美	臓器・組織提供時の家族ケア 医療メディエ ーションによる「対話と承認のケア」	移植, 2022年10月:57(10):167		E Only	B
1. 論文	(1)原著	査読有 中西淑美	重症患者・家族との新しいコミュニケーション 医療メディエーションを活用	日本集中治療学会雑誌, 2022年11月:29(11):254			
1. 論文	(4)著書	査読有 Toshimi Nakanishi, Lesley A. Jacobs, Yoshitaka Wada, and Ilan Vertinsky	* Moving Japan toward the Global Standard for Vaccines,	Lesley A. Jacobs, Yoshitaka Wada, and Ilan Vertinsky Global Health Security in China, Japan, and India, Vancouver: UBC Press, 2023, 124-53.			D
1. 論文	(7)その他	中西淑美	連載 臨床倫理メディエーション59 臨床倫理 メディエーション 59 「平和」とは何か	文化連情報, 2022年4月:529(4):60-63			
1. 論文	(7)その他	中西淑美	連載 臨床倫理メディエーション60 入院時重 症患者対応メディエーターについて	文化連情報, 2022年7月:532(7):68-73			
1. 論文	(7)その他	中西淑美	連載 臨床倫理メディエーション61 医学的無 益性	文化連情報, 2022年11月:536(11):70-73			
1. 論文	(7)その他	中西淑美	連載 臨床倫理メディエーション62 医学的無 益性-個別の治療決定にある倫理課題	文化連情報, 2023年1月:520(1):52-57			
2. 学会報告	(1)国際学会	i 特別講演・招待講演・会長講演	RESTORATIVE JUSTICE AND ITS SIGNIFICANCE IN MEDICAL MEDIATION Rebuilding broken trust	The 11th international conference of the European Forum for Restorative Justice (EFRJ) SASARI June 23th -25th 2022			
2. 学会報告	(2)国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	医療メディエーションによる修復的正義 (Restorative Justice)の試み	第16回RJ全国交流会, 東京: 2022年6月			

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告 (2) 国内学会		ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	中西淑美	「共創未来」ー 協働意思決定に向けて	第17回中通医療連携セミナー学術集会, 秋田; 2022年7月		
2. 学会報告 (2) 国内学会		ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	佐藤慎哉	J Clin Oncol 掲載への道のり	一般社団法人日本脳神経外科学会 第81回学術総会, 横浜; 2022年9月		
2. 学会報告 (2) 国内学会		ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	中西淑美	臓器・組織提供時の家族ケア	第58回日本移植学会総会, 名古屋; 2022年10月		
2. 学会報告 (2) 国内学会		ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	中西淑美	Withコロナでの協働	第12回日本医療コンフリクト・マネジメント学会, Web; 2023年2月		
2. 学会報告 (2) 国内学会		ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	中西淑美	対話推進教育の重要性	第12回日本医療コンフリクト・マネジメント学会, Web; 2023年2月		
2. 学会報告 (2) 国内学会		ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	中西淑美	日常診療における医療倫理の重要性について	第49回日本股関節学会学術集会, 山形; 2022年10月		
2. 学会報告 (2) 国内学会		ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	中西淑美	集中医療での医療者と患者・家族の思いを紡ぐ医療メディエーション	第50回日本集中治療医学会学術集会, 京都; 2023年3月		
2. 学会報告 (2) 国内学会	査読有	iii 一般演題	中西淑美	医療メディエーション教育の必要性における実践者と非実践者による知識の差	第24回日本医療マネジメント学会, 神戸; 2022年7月		
2. 学会報告 (2) 国内学会	査読有	iii 一般演題	中西淑美	インフォームド・コンセントにおける医療メディエーションの利点-臨床家の評価視点から	第54回日本医学教育学会大会, 群馬; 2022年8月		
3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催			中西淑美	医療メディエーション研修	医療メディエーター研修会 筑波大学付属病院, 筑波; 2022年5月		
3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催			中西淑美	医療メディエーション研修	医療メディエーション研修会 国立病院機構仙台医療センター, 仙台; 2022年6月		
3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催			中西淑美	医療コンフリクト・マネジメントセミナー	医療コンフリクト・マネジメントセミナー 新潟県医師会, 新潟; 2022年7月		

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
3.学会, 講演 会, シンポジウ ム, ワーク ショップ等の開 催		中西淑美	医療安全管理者研修と交流会	宮城県看護協会研修会 宮城看護協会会館・看 護研修センター, 宮城; 2022年8月			
3.学会, 講演 会, シンポジウ ム, ワーク ショップ等の開 催		中西淑美	医療コンフリクト・マネジメントセミナー	医療コンフリクト・マネジメントセミナー 新 潟県医師会, 新潟; 2022年10月			
3.学会, 講演 会, シンポジウ ム, ワーク ショップ等の開 催		中西淑美	人材管理Ⅱ: 多職種チームのマネジメントにつ いて	認定看護管理者教育課程セカンドレベル 山形 県看護協会会館 看護研修センター, 山形; 2022 年10月			
3.学会, 講演 会, シンポジウ ム, ワーク ショップ等の開 催		中西淑美	医療メディエーション導入編及び基礎編	基礎編研修会 日本赤十字和歌山医療センター, 和歌山; 2022年10月			
3.学会, 講演 会, シンポジウ ム, ワーク ショップ等の開 催		中西淑美	対話推進のための医療メディエーション	医療メディエーター導入講演会 福岡市医師会, 福岡; 2022年11月			
3.学会, 講演 会, シンポジウ ム, ワーク ショップ等の開 催		中西淑美	日本医療コンフリクト・マネジメント-医療メ ディエーション導入基礎編	医療メディエーター研修会 福岡市医師会, 福 岡; 2022年11月			
3.学会, 講演 会, シンポジウ ム, ワーク ショップ等の開 催		中西淑美	臨床研修病院の臨床研修の質を上げる研修	令和4年度山形県臨床研修指導医講習会タスク フォース 山形県立中央病院, 山形; 2022年11月			
3.学会, 講演 会, シンポジウ ム, ワーク ショップ等の開 催		中西淑美	対話とは何か: 対話の理念とモデルワーク~患 者対応の組織体制: 病院の実践例まで ロール プレイなどの講義	令和4年度医療安全対策Ⅱ 国立病院機構仙台医 療センター, 仙台; 2022年11月			
3.学会, 講演 会, シンポジウ ム, ワーク ショップ等の開 催		中西淑美	医療メディエーション研修	医療メディエーション研修会 美ら海ハシイ産 婦人科, 沖縄; 2022年12月			
3.学会, 講演 会, シンポジウ ム, ワーク ショップ等の開 催		中西淑美	医療メディエーション研修	医療メディエーションフォローアップ研修会 山形県立病院機構, 山形; 2023年2月			
3.学会, 講演 会, シンポジウ ム, ワーク ショップ等の開 催		中西淑美	医療メディエーション基礎編 フォローアップ 研修	令和4年度医療メディエーション研修会 山形県 病院事業局, 山形; 2023年2月			

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
3.学会、講演 会、シンポジウ ム、ワーク ショップ等の開 催		中西淑美	医療メディエーションに関わる基礎編	令和4年度医療対話推進者養成講座 東京都立病 院機構, 東京; 2023年3月			
3.学会、講演 会、シンポジウ ム、ワーク ショップ等の開 催		中西淑美	山形県医療ADR学術研究会定例勉強会	山形; 2022年4月-2023年3月web (毎月1回)			
3.学会、講演 会、シンポジウ ム、ワーク ショップ等の開 催		中西淑美	第17回山形県医療ADR学術研究会	山形; 2022年12月web (年1回)			
3.学会、講演 会、シンポジウ ム、ワーク ショップ等の開 催		中西淑美	山形大学医学部付属病院看護師長看護者教育	山形; 2022年4月-2023年3月 (適宜要請に応じ て)			